



雨谷 善之 | 指揮・音楽監督

洗足学園音楽大学卒業。同附属オペラ研究所修了後、渡欧しイタリア、オーストリアなどで研鑽を積む。帰国後は「ドン・ジョヴァンニ」「マクベス」のタイトルロール等で出演。好評を得た。藤原歌劇団には「椿姫」使者でデビューし、2005年マカオ国際音楽祭オペラ「蝶々夫人」にヤマドリで出演。その後、藤原歌劇団公演「蝶々夫人」にも連続出演し、新国立劇場でのオペラ公演に多数出演した。リッカルド・ムーティ、ズビン・メータ、チョン・ミョンフン、アラン・ギンガル氏らと共演。最近では指揮法を伊藤栄一氏、イタリアオペラをルーマニア国立ヤシ歌劇場総監督 C. カリストゥル氏、澤木和彦氏の元で学び、これまでに秋山和慶、河地良智、宮松重紀、増井信貴、上野正博氏らの副指揮を務め、自身ではオペラ「椿姫」「カルメン」「トスカ」「蝶々夫人」を指揮。2016年秋には横浜にてフォーレ「レクイエム」全曲を指揮した。オペラや宗教曲などの経験を活かし、2015年、2018年湘南トロンボーン協会定期演奏会に客演指揮者として招かれ、ルニエ作曲 ハープ協奏曲、ダヴィット作曲 トロンボーン協奏曲を一流のソリストと共演。2017年西池袋管弦楽団に指揮者として招かれ、チャイコフスキー作曲 交響曲第5番などを指揮。2018年3月には、ウィーン・カニシウスにてフォーレ「レクイエム」その他ミサ曲を指揮。同地で高い評価を得た。豊かにオーケストラを歌わせるその音楽性で公演を成功に導き、オーケストラ指揮者・指導者としても活躍している。現在、洗足学園音楽大学・大学院講師。一般社団法人全日本ピアノ指導者協会 (PTNA) 会員。

西口 彰子 | ソプラノ独唱

東京藝術大学卒業。同大学院に入学後、渡米。マネス音楽院修士課程、及びプロフェッショナル・スタディ・ディプロマコースに奨学生として学び、修了。IVAI イスラエルにて「ナクソス島のアリアドネ」にナヤード役で出演。Arkadi Foundation Opera Idol Competition (ニューヨーク) 第2位。

Neustadter Meistersingerkurse コンクール(ドイツ)において第3位、及び聴衆賞受賞。ヴォルムス、ノイシュタット両都市にて行われたジルベスターコンサートにおいて、ラインラント＝プファルツ州立フィルハーモニー管弦楽団と共演。アルゲマイネ紙に「光り輝く高音、心地よいビブラート、音程、声のしなやかさによって聴衆は誰もが息を呑んだ。」と評される。

これまで、モーツァルト「レクイエム」「戴冠ミサ」、フォーレ「レクイエム」、ベートーヴェン「第九」のソプラノソロを務める。オペラでは「リゴレット」ジルダ役、「ヘンゼルとグレーテル」グレーテル役、「カルメン」フラスキータ役などで出演。

第1回日光国際音楽祭・声楽コンクール準大賞受賞。中嶋彰子プロデュース農楽塾・第1回オペラガラコンサート出演。2017年CD「思ひ出」をリリース。ソリストとして、東京藝大シンフォニーオーケストラ、群馬交響楽団、東京フィルハーモニー、The Choral-Orchestral Ensemble of New York と共演。故朝倉蒼生、寺谷千枝子、Arthur Levy, Ira Siff, John Norris の各氏に師事。小山評定ふるさと大使。とちぎ未来大使。二期会会員。

公式ホームページ：<http://akiko-nishiguchi.net/>

Photo by Shigeto Imura



オラトリオ・ガブリエル合唱団

2016年10月、自身が率いる合唱団にてオーケストラ伴奏による合唱公演(レクイエム/G.フォーレ)を成功させた雨谷善之が指導を務める合唱団。2016年11月より活動を開始して以来、音楽大学声楽専攻の卒業生を各パートの指導者として招き、フレッシュな歌声を交えながら鍛錬を積んできた。横浜市磯子区屏風ヶ浦地域ケアプラザを中心に活動。2018年夏、神奈川県合唱連盟加盟。

テアトラレ雨谷管弦楽団

雨谷善之が音楽監督・指揮を務め、主にオペラ音楽やバレエ音楽といった舞台音楽、合唱曲を中心とした選曲で練習を行う楽団として2017年に結成。

また、第一線で活躍する演奏家である星野均(Cl.)、古川原裕仁(Vla.)をトレーナーとして招聘し、妥協のない音作りを目指す。

